

日本アーカイブズ学会

2019年度大会

2019年 4月20日(土) 21日(日)

会場：学習院大学 南3号館



20日(土) 受付開始 12:00

○ 総会 13:00~15:00

○ 講演会 15:30~16:30
アーカイブズ取材で見えた
日本の病理

松岡資明 (元日本経済新聞記者)

○ 懇親会 17:00~19:00

会場：輔仁会館 1F

会費：一般 5,000 円 / 学生 3,000 円

○ ポスター研究発表 12:00~13:00

○ 賛助会員出展 13:00~16:30

【会場地図】



21日(日) 受付開始 9:00

○ 自由論題研究発表会 9:30~12:20

○ ポスター研究発表 12:30~13:30

○ 大会企画研究会 14:00~17:00

テーマ

社会が求めるアーカイブズ

[報告1] 社会的養護に関する記録管理：

ケアリーヴァーにとっての記録とは

阿久津美紀 (目白大学人間学部児童教育学科)

[報告2] 記録を残し公開することの意味：

旧優生保護法、ハンセン病の記録を題材に考える

薄井達雄 (神奈川県立公文書館資料課)

[コメント] 岡村正男 (エリザベス・サンダース・ホーム OB 会 副会長)

○ 賛助会員出展 9:30~15:30

【会場】 学習院大学 南3号館

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

(JR山手線目白駅下車)

【参加費】 会員 500 円 / 非会員 1,000 円

事前申込不要

【問い合わせ先】

日本アーカイブズ学会事務局 〒105-0004 東京都港区新橋 1-5-5 国際善隣会館 5 階 E-mail: office@jsas.info

www.jsas.info

2019年度大会 プログラム *タイトル、時間、会場等に変更となることがあります。



4月20日(土) 受付開始 12:00

- **総会** 13:00~15:00 *会員の方のみが参加できます
- **講演会** 15:30~16:30
アーカイブズ取材で見た日本の病理 松岡資明 (元日本経済新聞記者)
- **懇親会** 17:00~19:00 (会場: 輔仁会館 1F、会費: 一般 5,000 円/学生 3,000 円)
- **ポスター研究発表** 12:00~13:00
米国のミュージアム・アーカイブズの多様性: 『ミュージアム・アーカイブズ』掲載写真資料の著作権交渉から / 筒井弥生
- **賛助会員出展** 13:00~16:30

4月21日(日) 受付開始 9:00

- **自由論題研究発表会** 9:30~12:20

第1会場

オープンソースを用いたアーカイブズ資料情報提供システムの構築過程と課題: AtoM を事例に / 金甫榮
アーカイブズ構築のプライオリティとは何か: デジタルアーカイブに関わるスリムモデルからの投げ返し / 福島幸宏
認証連携を利用したデジタルアーカイブシステムのアクセス制御の取り組み / 五島敏芳・戸田健太郎・高田良宏
デジタル時代にアーカイブズ機関が果たす役割とは: 西オーストラリア州アーカイブズの組織改編を事例に / 大木悠佑
デジタル・マニュスクリプトの段階的整理: BitCurator と Archivematica による対応策 / 橋本陽

第2会場

中華人民共和国におけるアーカイブズ学教育の始まり / 柳町茂一
ウォーターゲート事件の遺産: アメリカ大統領記録の管理をめぐって / 平野泉
事例研究: 米国の州公文書館と民間アーカイブズ
—「普及」(利用の促進・連携)等についてのインタビュー事例を中心に— / 浅野真知
アメリカ州立公文書館における財源確保と基金助成: イリノイ州の事例を中心に / 元ナミ

第3会場

被災自治体における公文書管理の現状と課題: 福島県富岡町を事例に / 牛来樹璃・白井哲哉
被害スモン関係資料の公開と利用の可能性: 法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ所蔵資料を事例として / 川田恭子
茶道関連記録の利用促進に向けた検索手段の整備: 幽清会川浪家文書を事例として / 中村友美
まんが関連ミュージアムにおけるアーカイブズ資料の管理・利用と専門職の役割 / 蓮沼素子

第4会場

写真家資料の資源化とその活用に向けた課題: 比嘉康雄資料の整理・保存を事例に
/ 高科真紀・小屋敷琢己・阿久津美紀・山永尚美・秋山道宏
行政組織で作成された動的映像資料についての一考察: 科学映画『しんかい—潜水調査船の記録—』を事例として / 山永尚美
企業アーカイブズ目録に消滅部門情報を反映させる試み:
資生堂企業資料館収蔵「企画部」資料の分析とアーカイバル記述を通して / 清水ふさ子
建築レコードを整理するための「万国共通のアプローチ」とはなにか: ユネスコ(1986)とICA(2000)との活動分析から / 齋藤歩

- **ポスター研究発表** 12:30~13:30

- **大会企画研究会** 14:00~17:00

テーマ: 社会が求めるアーカイブズ

[報告1] 社会的養護に関する記録管理: ケアラーヴァーにとっての記録とは / 阿久津美紀 (目白大学人間学部児童教育学科)
[報告2] 記録を残し公開することの意味: 旧優生保護法、ハンセン病の記録を題材に考える / 薄井達雄 (神奈川県立公文書館資料課)
[コメント] 岡村正男 (エリザベス・サンダース・ホーム OB 会 副会長)

- **賛助会員出展** 9:30~15:30